

国際線アウトバウンド利用促進関係助成事業助成金交付業務委託に係る 企画コンペ実施要領

1 目的

現在、阿蘇くまもと空港国際線振興協議会では、国際線利用促進に係るアウトバウンド需要を喚起のためのパスポートの新規取得・更新や海外渡航費用の一部に助成金を交付する事業を実施している。

本件は、その様な助成事業の実施に伴う申請受付、審査、助成金交付までの一連の交付事務を外部の専門事業者へ委託することを目的とする。

2 委託する業務

別添「国際線アウトバウンド利用促進関係助成事業助成金交付業務委託基本仕様書」のとおり

3 委託期間

契約締結の日から令和9年（2027年）3月31日（水）まで

4 企画コンペの概要

(1) 名称

国際線アウトバウンド利用促進助成事業助成金交付業務委託に係る企画コンペ

(2) 業務委託内容

次の助成事業に係る申請受付から助成金交付までの事務局業務

- ① パスポート取得助成
- ② トランジット利用助成
- ③ 阿蘇くまもと空港国際線グループ旅行助成

(3) スケジュール

| | |
|--------------|----------------------|
| 令和8年5月13日（水） | 募集案内（県HP） |
| 5月19日（火） | 質問受付期限（17時まで必着） |
| 5月22日（金） | 参加申込書 提出期限（17時まで必着） |
| 5月29日（金） | 企画提案書 提出期限（17時まで必着） |
| 6月 8日（月） | プレゼンテーション（予定） |
| | ※日時、場所等は、提案者に別途通知する。 |
| 6月上旬 | 審査結果通知 |

5 参加資格

- (1) 法人又は法人で構成される団体。ただし、海外に拠点を置く法人が参加する旨を申し出た場合においては、(2)以下に掲げる条件に準じ個別に参加資格を判断する。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (3) 次のいずれにも該当しない者であること。
 - ア 民事再生法（平成11年法律第225号）第21条第1項の規定による再生

手続開始の申立をした者又は同条第2項の規定による再生手続開始の申立をされた者。

イ 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条第1項の規定による更生手続開始の申立をした者又は同条第2項の規定による更正手続開始の申立をされた者。

ウ 国又は地方公共団体による指名停止処分を受けている者。

(4) 消費税及び地方消費税並びに都道府県税において未納がない者であること。

(5) 宗教活動や政治活動を目的としない法人等であること。

(6) 当該法人の役員が、次の各号のいずれにも該当する者でなく、かつ、次のイ及びウに掲げる者がその経営に実質的に関与していないこと。

ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

イ 暴力団員（法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者

エ 当該法人若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者

オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等、直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

カ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

(7) 本業務の運営にあたっては、十分なスタッフ数を確保するとともに、複数のスタッフが担当を行うなど着実に業務遂行できる実施体制を確保すること。

6 受託者の選定方法

以下の(1)、(2)により、提案者によるプレゼンテーションを行っていただき、最も事業効果が高いと判断した提案者を受託者として選定する。

なお、選考結果については、提案書記載の住所宛てに文書にて通知する。

(1) プレゼンテーション（参加必須）

日時：令和8年6月8日（月）

※質疑応答を含め、持ち時間は30分程度とする。

※下記9で記載する提出資料には会社名等、特定の企業・団体が特定できるものの記載を禁止する。なお、プレゼンテーション時においても同様とする。

※日時、場所等は、別途通知する。

(2) 提案者の審査・選定等

プレゼンテーション終了後、資格審査の上、以下の審査項目に基づき、提案書に記載された内容を審査し、最高得点を得た者を選定する。採用基準点数は、審査員の平均点（全審査者の点数を合算し、審査員数で除したもの）が50点以上の場合とし、当該点数を下回った場合は採用しないこととする。

また、企画コンペ参加事業者が1社であった場合は、当該事業者の平均点が、50点以上の場合にのみ採用案として選定する。

○審査基準

| | 審査項目 | 評価事項 | 配点 |
|-------|--------|---|-----|
| 1 | 事業趣旨理解 | 提案内容は、仕様書のテーマ、方針等を十分理解したものとなっているか。 | 25 |
| 2 | 類似業務実績 | 現在や過去において、同種の業務（助成事業等）を請け負った実績があるか。 | 30 |
| 3 | 実施体制 | 本業務を運営・遂行する人員体制が十分に確保出来ているか。 ・申請者からの多様な問い合わせに対応出来る体制が整っているか ・助成金の交付は、2か月以内に適切に完了出来る体制が整っているか ・個人情報適切に管理する体制が構築されているか ・阿蘇くまもと空港国際線振興協議会宛の実績報告体制は整っているか | 20 |
| | | 今後のアウトバウンド促進に資するような情報（各助成事業申請者の年齢、性別、渡航先等）が収集できるような専用フォームであるか。 | 20 |
| 4 | 事業者の取組 | 熊本県ブライツ企業の認定を受けているか。 | 1 |
| | | 障害者支援施設等からの物品及び役務の調達実績（当該年度又は前年度）があるか、または、協力雇用主制度に登録しているか。 | 1 |
| | | 事業活動温暖化対策計画書制度の対象事業者（義務及び任意）、エコアクション21、RE100、再エネ100宣言RE Actionのいずれかの認証等、または、森林吸収量認証書の交付実績（当該年度又は前年度）があるか。 | 1 |
| | | 熊本県渋滞対策パートナー登録制度に登録しているか。 | 1 |
| | | 熊本県SDGs登録制度に登録しているか、または、「パートナーシップ構築宣言」をポータルサイトに登録しているか。 | 1 |
| 合計評価点 | | | 100 |

(3) 結果通知

審査結果については、審査・選定終了後、採用・不採用に関わらず、後日書面で通知する。

なお、審査の結果は非公表とし、審査結果に対する異議申し立ては受け付けないこととする。

7 契約の締結

審査の結果、選定された事業者と阿蘇くまもと空港国際線振興協議会との協議により、契約を締結する。

なお、当該事業者と協議が調わない場合、又は事業者が辞退した場合は、審査・選定において次点とされた事業者と協議の上契約を締結する。

8 企画コンペ参加申込み

(1) 提出物

ア 企画コンペ参加申込書（別紙様式1）…1部

イ 会社概要…1部

会社概要の分かるパンフレット等を添付すること。

ウ 登記事項証明書…1部

法務局が提出日の3か月以内に発行した現在事項証明書の原本に限る。

エ 印鑑証明書…1部

法務局が提出日の3か月以内に発行した法人の印鑑証明書の原本に限る。

オ 直近一事業年度分の貸借対照表及び損益計算書（決算期変更等で決算の月数が1年に満たない場合は、事業年度二期分の決算書）の写し…1部

カ 納税証明書（原本（3か月以内に発行されたもの））…1部

① 消費税及び地方消費税に未納がないことの証明書

② 県税に未納がないことの証明書

熊本県内に本店又は支店等がある場合は、各広域本部、各地域振興局、県自動車税事務所のいずれかで発行する「熊本県税（全般）について未納税額はありませぬ。」の証明書。

熊本県内に本店又は支店等がない場合は、本店所在地の都道府県が発行する都道府県税に未納がないという証明書。東京都等「都道府県税に未納がない」という証明書が発行されない場合は、法人住民税及び法人事業税・地方法人特別税についての直近の事業年度分の納税証明書。

キ 委任状…1部

本店の代表者から支店、営業所等の代表者への契約行為の権限を委任する場合に限る。様式は任意とする。

※現在、熊本県の入札参加資格を有している者は、上記ウからキまでの書類を省略することができる。その場合、別紙様式1にある「(参考)入札参加資格」欄に該当する登録番号を記入すること。

(2) 提出期限

令和8年（2026年）5月22日（金）17時まで。

持参又は郵送とし、郵送の場合は期限内に必着すること。

(3) 提出先

本文書末記の提出先に提出すること。

9 提案書の提出

- (1) 提案物（ア 提案書表紙以外は、様式不問（原則 A4 サイズで作成））
 - ア 提案書表紙（別紙様式 2）
 - イ 実施スケジュール・体制図
 - ウ 類似業務実績資料（※特にない場合は添付不要）
 - エ 参考見積書
 - オ 事業者の取組に関する申出書（別紙様式 3）（※特にない場合は添付不要）

※いずれも会社・団体名等が特定できないようこれらの記載を禁止する。
- (2) 提出部数… 8 部（正本 1 部 副本 7 部）
- (3) 提出期限
令和 8 年（2026 年）5 月 29 日（金）17 時まで。
持参又は郵送とし、郵送の場合は期限内に必着すること。
- (4) 提出先
本文書末記の提出先に提出すること。

10 予算額

12,000 千円（消費税及び地方消費税を含む。）を上限とする。

ただし、以下の助成金費用は含まないものとする。

- ① パスポート取得助成に係る助成金費用（10 年有効パスポートを取得した対象者へは 1 人あたり 8,000 円、5 年有効パスポートを取得した対象者へは 1 人あたり 4,000 円とする。）
- ② トランジット利用助成に係る費用（1 人あたり 5,000 円とする。）
- ③ 阿蘇くまもと国際線グループ旅行助成に係る費用（1 人あたり 5,000 円とする。）

※上記①～③に要した費用については、別途、実績額を支払う（清算する）ものとする。

なお、提示額は、提案に当たっての目安（上限）となる額であり、契約額は別途設定する予定価格の範囲内で決定することとなるため、提示した額とは必ずしも一致しない。

11 契約保証金に関する事項

契約に当たっては、熊本県会計規則第 77 条の規定により契約保証金を納付すること。なお、納付された契約保証金は、契約の相手方が契約上の義務を履行したときに還付する。

ただし、熊本県会計規則第 78 条に該当する場合、契約保証金は免除する。

12 関係書類

関係様式等は、熊本県ホームページから入手すること。

【ホームページアドレス】

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/25/267580.html>

13 その他

- (1) 手続において使用する言語は日本語、通貨は日本国通貨によるものとする。
- (2) 一度提出のあった書類については、原則として差し替えを認めない。
- (3) 提出された提案書は、業務関係資料の保存のため、返却しない。また、不採用となった提案者の企画は一切転用しない。
- (4) 提案書の作成、提出及び選考に要する一切の費用は、提案者の負担とする。
- (5) 受託者の選定のため、提出された提案書の写しを作成し、使用することがある。
- (6) 提出された提案書は、熊本県情報公開条例（平成12年熊本県条例第65号）に基づき公開することがある。
- (7) 企画に際しては、業務委託先として採用されないこともある点に十分注意いただき、関係者とトラブルがないようにすること。
- (8) 本業務により作成した成果品及び委託業務実施に当たり新たに制作、撮影したもの等に関する全ての著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、熊本県に帰属するものとし、本業務以外の業務にて使用する場合がある。
- (9) 次の事項に該当する場合は、無効又は失格となることがある。
 - ア 関係書類の提出方法、提出先又は提出期限が守られなかったとき。
 - イ 関係書類に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないとき。
 - ウ 関係書類に記載すべき事項以外の内容が記載されているとき。
 - エ 申請書に虚偽の内容が記載されているとき。
 - オ その他、審査を行うに当たって不相当と認められるとき。
- (10) 企画審査で最高位の評価を受けた者が、参加要件を満たしていない場合は、契約締結ができないので注意すること。
- (11) 企画コンペについての問合せは、令和8年5月19日（火）まで電話連絡、メール、FAXで受け付ける。メール又はFAXの場合は、質問書（別紙様式4）を活用すること。なお、応答の内容は、必要に応じ熊本県ホームページ掲載する場合がある。
- (12) 参加者が1者のみであった場合でも、本企画コンペでの選定は実施する。
- (13) 参加申込手続きを行った後、都合により企画提案に参加しないこととなった者は、参加辞退届（別紙様式5）を提出すること。

【提出先及びお問合せ先】

〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

阿蘇くまもと空港国際線振興協議会

事務局：熊本県企画振興部交通政策・統計局交通
政策課航空企画班内

担当：和泉、大塚

電話：096-333-2168（直通） FAX：096-385-4815

Eメール：izumi-s-dr@pref.kumamoto.lg.jp